

思い出の「さんがい」展

明治十四年（一八八二）、かつて水運で栄えた水海道の地に宮大工が建てた洋風校舎――。象徴的に聳える鼓楼は、数多の子ども達に憧れと親しみをもって「さんがい」と呼ばれていた。



茨城県指定文化財「旧水海道小学校本館」(イメージ)

天の一角を指し、すつくと立ち上がった「さんがい」――。上がるのは禁じられていたが、卒業までの六年間に、誰もが一度は先生方に隠れ、上がったことがあるに違いない。

『仰ぐみどりの―水海道小学校百三十年の軌跡―』より



令和3年12月18日(土)

～令和4年1月30日(日) 会場:2階ギャラリー

休館日▶ 月曜日(祝日の場合はその翌日)・年末年始(12月29日～1月1日)

開館時間▶ 9:30～17:00(入館は16:30まで)

入館料▶ 一般350円/大学生180円/満70歳以上170円

※ その他、団体料金あり

入館無料▶ 高校生以下/身体障害者手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名

※ 満70歳以上の方 12月16日(木)は無料

茨城県立歴史館

〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15

Tel 029-225-4425

Fax 029-228-4277

<https://rekishikan-ibk.jp/>

常総市立水海道小学校内の資料展示室「歴史の部屋」に展示されている資料のうち、「さんがい」に関する写真パネルを2階ギャラリーに展示します。

展示の概要

1 「さんがい」とは

旧水海道小学校本館の三階部分の呼称。この洋風校舎のシンボルである八角形の塔屋は、当時の子ども達から親しみを込めて「さんがい」と呼ばれていました。水海道小学校の変遷とともに、このシンボルの写真を紹介します。



茨城県指定文化財「旧水海道小学校本館」

2 「さんがい」との風景

旧水海道小学校本館は、昭和46年(1971)に当館に移築し復元され、現在は県指定文化財として県内外の人々に親しまれています。この存在感あふれる校舎が「現役」だった頃の様子を、当時の写真とともに紹介します。



「運動会での女子ダンス」(常総市立水海道小学校蔵)

3 「さんがい」での風景

本館に代表される木造校舎で、水海道小学校の子ども達はどのように生活していたのでしょうか。当時の子ども達のいきいきとした様子を、学校生活の様々な場面の写真をとおして紹介します。



「夏のおさらい会」(常総市立水海道小学校蔵)

4 「さんがい」と共に

旧水海道小学校本館が移築されてからおよそ50年…。小学生としての時間を、当時の校舎と共に過ごした人々にとって、そこでの思い出は今も色あせていません。「さんがい」と共に過ごした人々の思いを、資料とともに紹介します。



「児童の話し合い風景」(常総市立水海道小学校蔵)